

# 春 慶

## 北海道教区報

第 617 号

発行所

天理教北海道教務支庁  
札幌市中央区南 8 条西 11 丁目  
電話 011 (561) 1148  
FAX 011 (561) 1190  
E-mail: tenrikyo.hk@gmail.com  
ホームページ  
<https://tenrikyohk.com>



すべて喜び

すべておたすけ

北海道教区

教祖 140 年祭  
北海道教区スローガン

教祖に成人の姿をご覧いただき  
その一里塚で、御守護と勇みを存分に頂戴し  
つとめとさづけのお力を頼りとして  
たすけ一条に歩む仲間と共に  
心新たに、頼もしい道を築いて参りましょう。

立教一八九年 新春

教区長 奥村尚人



## 新年のご挨拶



謹んで立教 189 年の新春をお慶び申し上げます。

教祖 140 年祭の年を迎えました。

各部各会よりご挨拶申し上げます。

### 総務部・集会員



笹田 道継

本年は教祖 140 年祭を迎える年となりました。私も集会員として 2 期目、立場も第 2 部門の副委員長、常任委員会委員となりました。後から聞くと質問をした人から選考する慣習があることから指名されたようです。

集会という全体像がようやく分かった段階で、組織を運営する一員になるうとは思っても寄らなかつたのですが、「素直に受けて、勇んでかかれれば神が働く」という言葉を思い出し、何とか通ってきた次第です。還暦をいくつも越えて未知の領域に足を

踏み入れるのは、正直ためらいがあるのですが、身を任せてしまえば結構何とかなるものなのとも感じています。

以前にも書いたように今のお道は人、もの、金という流れからだけ見ると、右肩下がりでないように思えます。特に教祖百年祭前後を知る世代にとっては、この先一体どうなるのだと先案じにとらわれてしまうことも否定できません。これを解決



教区祭

する特効薬や起爆剤はないように思っています。

しかしながら昨年 8 月集会で本部長永尾教昭先生が次の 4 つのテーマ、本部改革、教区支部の役割強化、海外伝道の課題、世界宗教になるための条件を掲げて講演された内容はかなり刺激的であり、この中の 1 つでも改革に真剣に取り組めば、現状は打破できるのではないかと大いに興味を持った次第です。詳細はここではお伝えできませんが、では具体的に何から手をつけるべきなのかという高い壁に直面する時、これをいかに乗り越えていくかという手立てを考えるとところに難しさがあります。



ようばく一斉活動日

それでも組織は変わっていくなければなりません。何故なら組織は 1 つの方法論であり道具だからです。お道の組織が変わり、教会が活性化して信者さんが勇んで下されば、陽気ぐらしへの道は一步近づくはずだからです。永尾先生は「批判ではなく、意見を」という姿勢が大切であり、代替案を伴う意見は組織に不可欠であると強調されました。

思考の柔軟な若い人達の意見を取り入れ自由闊達な議論を通して、次なる塚へと向かう出発点に立ちたいと考え、教祖 140 年祭の年に壁を乗り越える勇気を持って歩むことを誓って、新年の挨拶とします。

### 教務部

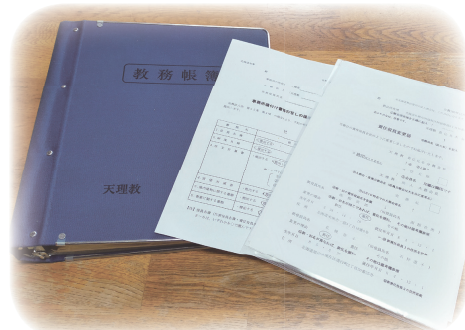


大野 成一

以前、テレビのサスペンス劇場で、「税務捜査官 窓際太郎の事件簿」という人気シリーズが放映されていました。その中で主演の小林稔侍さんが、毎回のように研修先の税務官に対し

てよく言うセリフで「税金というものは、取るものではなく、頂くものです。」と。

また、本部法人課より出されている「法人実務ニュース」が 400 号となり、記念特別号として発行していた小冊子では「今、宗教法人は、宗教法人課税はあるのか?」との対談が載っておりまして。その中で政府税制調査会委員として 6 年間務められた税理士上月英子氏は税金について「これは一種の社会負担なんです。・・・税金とは、そういう社会が成り立つための、それぞれが負担しなければならない社会が成り立っていない負担金みたいなものですね。」「税金というのは取られるものではない



(3P へ続く)



(2P 続き)

く、納めるものなのです。」とおっしゃっていただきました。

国会では「年収の壁」として所得控除について活発な議論がなされております。皆様は、税についてどのような認識をもっておられるでしょうか？

毎年、12 月から 1 月にかけて「年末調整」の事務処理がなされますが、昨年はその控除についても大きく変化し、その書類作成が複雑化しております。

教会においても、法人である以上、給与を定めて、源泉事務処理を行っている事と存じます。その手続きを支部で毎年指導し、まとめて提出している、あるいは、各個人が行っているところもあるでしょう。しかしながら、どちらにしても正確な

税務処理をして、税務署等に提出しなくてはなりません。

教区教務部では、これまでそれぞれの教会にゆだねており、詳細な指導はしておりませんが、やはり作成した書類がこれで良いのか不安に感じることもあると思います。そこで、専門的な税に関する事は税理士等の分野となりますが、要望が多ければ、各書類の作成、毎年のよ

うに変更点がある控除体系を説明し、各市町村に提出する「給与支払報告書」、税務署に提出する「法定証書合計表」また「源泉徴収票」「納付書」をスムーズに作成出来るよう指導できればとも考えているところです。

教務部として今年の行事計画は出しておりませんが、何らかの形で実現ができればと思案しております。どうか、皆様のご意見をお聞かせ下さい。

その他、各願書類の相談、また提出を、おぢば事務所（祭典日前後）にても受け付けておりますので、ご活用下さい。皆様に寄り添った教務部を目指し、年祭の年も部員一同、精一杯勤めさせて頂きます。

本年も、教務部の上に、お力添え下さいますようお願いいたします。

## 布教部



内田 誠司

さあ教祖 140 年祭を迎えます！この三年千日どのように過ごされたでしょう…。皆様それぞれ



支部布教部長会議（ねりあい）

の思いでの年祭活動だったと思います。

昨年は、教区布教部の上にお心寄せ下さりご協力いただきました。ありがとうございます。

今年は年祭の大切な年、ますます前進していきたいものです。

今年大きな活動として、支部布教部長会議を年 2 回開催。教理勉強として上田嘉世先生のおふでさき講義を学びたいと思います。布教講話もどこかのタイミングで出来たらいいですね！

おぢばからのお声として、全教一斉ひのきしんデー、全教一斉にをいがけデー、9 月のにをいがけ強調の月など布教に向か

えるきつけがたくさんあります。

教区としても、毎月の「やまびこ会」「にをいがけ Walker 北海道」があり、また各支部ごと

の布教実動日をお願いしているところ。また支部行事として、みおしえ学習会、かがやきプログラム、にをいがけドリル、陽気ぐらし講座があります。

それぞれの地域の実情に合った企画をぜひとも実行していただけますようお願いいたします。年に数回、海外の方へのにをいがけもあります！参加お待ちしています。

今年も一步一步と前進していきましよう！

## 福祉厚生部



岡崎 秀人

昨年は福祉活動にご協力頂きありがとうございました。今年も限りある予算の中で出来ることを部員一同、教祖の思惑に心近づくよう努め、横の活動を通

して、お道のきょうだいとして互いに喜び喜ばせることが出来ればと心がけて参ります。

教務支庁における「福フェス」で数多くの若い人たちが、生き生きと勇んで活動する姿を見て、これからの北海道教区は大丈夫だと思いました。

人は人の為に働いて満足を与えてこそ真の喜びを感じるものと思います。

今年は本部行事で 4 月 25 日に障害者おぢばがえり大会があります。教区においても様々な学びの場を設けています。

本年もどうぞご参加頂きまして、おたすけを進めてくださいます様、よろしく願います。



福フェス 2025



## 育成部



木岡 喜久子

希望あふれる年祭の年を迎え、次代を担う道の後継者の育成のための活動と、「合唱団」「雅楽講習会」「教務支庁ふせこみひのきしん」などの諸活動の上に、心も新たにつとめさせて頂きたいと思います。

年祭活動の一環として、3年間毎月29日に開催いたしました「ふせこみひのきしん」では、共々につとめさせて頂く中で毎回参加者の方々から多くの勇みを頂きました。やはり、仲間と



雅楽講習会

同じ思いで共に実践させて頂く事で充実感が湧いてくるのだと思います。若い年代にも同じ目線で共に取り組ませて頂き、教会や教区の活動に勇んで参加して頂けるよう尽力させて頂きたいと思っています。

特に本年は、「育成連携会議」を立ち上げて、道の後継者の育成に繋げるべく各会の連携を推し進め、当部の諸活動はもとより、教区内の多くの活動の充実や各会のたすけ合いを弘めて頂きたいと思います。

本年も皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



中村 圭一

## 文化広報部・代表社友

「紙離れ」の流れが止まらない。本教の主要機関紙「天理時報」もここ数年約5千部ずつ発行部数が減少している。その要因には、現役ようぶく数の減少

があげられますが、それとともに、インターネット環境の発達による若年層の「紙離れ」も大

きな一因となっている。既報のとおり、「天理時報」は立教190年4月より、これまでの月4回から2回へと発行体制が変更になります。

一方、この現象を鑑みたうえで、道友社では「天理時報オンライン」を立ち上げ、多種多様な購読層に対応している。「天理時報」の過去回はもちろん、書籍の閲覧にも対応しており、



天理時報オンラインの画面

その用途は多岐にわたるものとなっている。また各地の活動、人物紹介、各種講話などソーシャルメディアを通して様々な情報を発信している。

私もそうですが、活用できておらず、元々その手の物が得意ではなく、歳を重ねるごとに無意識に（否意識的に）避けてい

## 庶務部



高橋 太志

るのかもしれない。もったいない話だ。情報発信が要となる部署として、今年こそは取り組んでいきたいと思っています。

昨年4月より庶務部長としてつとめさせていただいております。主に会議の議案の確認と会議録の最終確認です。毎月欠かさず会議録を作成して下さる担当の先生には感謝しております。

また、庶務部内にはおちばがえり推進課を設け、皆様のおちばがえりの一助になればと情報をお知らせしております。

今年は特に本部輸送部から発行されます新日本海フェリー役員証明証の切り替えがございします。あらためてご案内いたしますので速やかな対応をお願いいたします。

定例にをいがけ  
やまびこ会

布教を志す者の会「やまびこ会」では、12月16日、教務支庁周辺を8名が戸別訪問にまわり、布教活動を行った。

時折、強い風が吹く中、2、3名のグループに分かれて実施。

45分と短い時間ではあったが教祖と共に、また仲間と一緒に定められた時間を心明るく勇んでつとめることができました。



戸別訪問





## 婦人会



奥村 とう子

いよいよ教祖140年祭が目前となり、今まで以上に喜び心いっぱい毎日を送りたいと思います。

・婦人会本部より今年の活動について  
【教えを伝えられる人に】

「教祖がよろづたすけのため」に教えてくださった、かぐらづとめについて学び、周りの人に自信をもって教えを伝えていく力を身につけることを目指して取り組みを進めて下さい。」と打ち出しがございました。

天理教婦人会各支部（直属での婦人会の呼び方）より活動内容が発表されると思いますので、委員長・会員の皆様はそれぞれの支部長様の思いに沿っ

て活動頂きたいと思っています。教区婦人会といたしましては、同じ地域に住む婦人会員が互いにたすけ合い、励まし合い、勇ませ合う活動を婦人会本部の思いにそって進めさせて頂きたいと思っています。

本年もどうぞよろしくお願ひ致します。

## 青年会



岡田 荃貴

昨年は青年会活動にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございました。皆さまのお力添えにより、道内各地での取り組みを活発に進めることができ、あらためて深く御礼申し上げます。

今期は「熱教―教えに熱く―」を活動方針に掲げ、青年会員らしく、それぞれが信仰をつかめるよう、さまざまな活動を進めております。その一環として、各支部の取り組みをさらに推進するための「熱教合宿」を企画し、青年会員が互いに学び合い、地域でのひのきしんや実動の原動力を養う機会として実施いたしました。会員の真剣な姿勢と、支部・教会の温かなつながりから、青年会活動の必要性をあらためて感じることができました。

また、活動40周年を迎えた「洞爺湖緑化ひのきしん」を、皆様のお力添えにより無事開催できました。長年にわたり継続されてきたこの取り組みは、地域と教内の方々の支えがあつてこそ

続けられたものであり、有事の際に真価を発揮する尊い歩みであると感じております。



洞爺湖緑化ひのきしん

まもなく教祖140年祭を迎えますが、全教の勢いに先駆け、本年も明るく元気に、そして教えに熱く、活動を進めてまいります。引き続き、皆様のお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## 少年会



大脇 直丸

喜び勇む年祭の年。本年もよろしくお願ひ致します。

昨年は残念ながらYYキャンプが中止となりましたが、少年ひのきしん隊をはじめとする活動もおおげさなご協力のおかげで、喜

んでつとめさせて頂いた事で、ありがとうございました。

今年の活動におきましては、2月に開催される「少年会幹部会」での島村委員長の思いに少しでも近づける様、一丸となつて勇んでつとめさせて頂きたいと思っています。

教祖140年祭の旬に一人でも多くの会員さんにおちばに帰っていただき、喜び、感動を伝えられるように、また未来を担う子供たちが一人でも多く、このお道に繋がっていただけるよう、つとめてまいります。

本年も支部長先生をはじめ、支部育成委員長さん、各教会の先生方のお力添えをいただきながら、子供達の笑顔を通して、親神様、教祖にお喜びいただけます様、取組んでまいりますので、変わらぬご理解とご協力の程、よろしくお願ひ致します。



少年ひのきしん隊

成人目標  
活動方針

- 立教 189 年 —
- ひながたをたどり 陽気ぐらしの台となりましょう
- 一、おつとめの大切さを学び 真実の心で勤めよう
  - 一、日々に教えを実践し おつとめを勤める人を増やそう



## 災害救援ひのきしん隊



富山 知一

災害隊では、近年各地で起こる火災、水害、風害、震災、雪害あらゆる被害に備えて全道の隊員と共に、一手一つの精神で、訓練をさせて頂いております。

地域の皆様、又、婦人会の御支援、御協力を頂きながら活動させて頂けます事より御礼申し上げます。

昨今は全国各地で色々な災害が起こり、全国の隊員も、災害活動に尽力されている処だと思

います。

北海道においても、様々な災害を想定して訓練を展開していく予定でございます。

今年は道央ブロックを主体として、全道の隊員と教務支庁を宿営地に訓練させて頂く予定でございます。

有事の際には、訓練で経験した事が非常に大切になります。

いつ何時、起こりうる災害に對して、常に連携を持って有事に備えさせて頂きたいと思っておりますので、今年も皆様におかれましては、災害隊活動にご支援、ご協力頂きますよう、お願い致します。

## 基礎講座



佐藤 元展

旧年中は基礎講座にお力添えを頂き、誠に有難うございました。基礎講座では、講師のお話とビデオを通して、天理教の教えを分かりやすく丁寧に説明させて頂き、天理教のことを知っている方はもちろん、まったく初めての方にも親しみやすい内

容になつております。これから別席を運ぶ方には、この講座を受講することで、より一層別席のお話の理解が深まります。また、当教区では設置当初より、基礎講座をおちばへの入り口として取り組ませて頂いております。

現在、事務局では地方会場の開催にも力を入れて取り組んでおります。幅広い層の方に一人でも多く受講頂き、親神様・教祖の深い親心を感じ、天理教が目指す『陽気ぐらし』に触れて頂きたいと考えております。にいがけ・おたすけの一助として、基礎講座をご活用頂けることを願っております。



基礎講座

本年も基礎講座の受講を頂けるよう、事務局係員一同心よりお待ちしております。

## 学生担当委員会



高橋 清彦

学生会活動の上にご理解と沢山の御力添えを賜り本当にありがとうございます。

今年度は野村夏実委員長を中心に今年3月28日の「教祖140年祭学生おちばがえり大会」を見据え一人でも多くの学生とおちばに帰れるようにと行事や活動を頑張っております。

学生スタッフは、「参加してくれた学生に喜んでもらいたい。自分の居場所になつてほしい」との思いをもって活動しています。

楽しいだけではなく、おたすけの姿がいっぱいあります。そんな姿をお世話取りさせて頂く中で学生と共に気づき沢山喜びさせて頂いております。

昨年12月のおつとめ総会の際に遠方からある教会長さんが高校1年生の息子さんを連れて参

加して下さいました。初参加の息子さんは、せつかくの貴重な土日なのにと渋りながら携帯をいじっていましたが、帰る時には「先生、春学に絶対いくね。」と嬉しそうに話してくれました。その事を学生スタッフに伝えた時の喜びは大変大きなものでありました。

どうぞ北海道教区に繋がる皆様、身近におられます学生にお声かけて頂きますように宜しくお願い致します。



春の学生おちばがえり



## 支部布教部長会議

### 布教部

布教部は、12月2日、教務支庁にて今年後半の支部布教部長会議を開催した。

今回は布教講話を兼ねて、三重県桑名市の郡山大教会部属攝歩分教会長の浅野元治先生をお招きし、講話いただいた。

浅野先生は、仮死状態で生まれ、おさづけで守護いただき、専修科在学中にも生死を彷徨う大怪我をおさづけでたすけていただく。その後、布教の家で布教師として目覚め、現在の桑名



布教講話

市にて夫婦で心を合わせて布教に歩み約30年、コロナ禍の令和3年(立教184年)教会名称の理と教会長のお許しを戴かれ、今も時間をつくって布教に出ておられる。

「この雑用を片付けてから布教に出ようと思っていたら、そのあとすぐ別の雑用が出てきます。目の前の雑用を後からと置いといて布教に出るところにお話を聞いてくださる方と出会える!」もう一軒もう一軒と廻り、でもこれこそ最後の一軒!で出会いが生まれる!とおたすけに懸ける熱烈な思いを披露

くださった。

講話後は、①講師への質疑応答、②やまびこ会、布教の家にをいがけ関係、③本部布教部よりの各種講習会について3グループに分かれ、今後の啓蒙と取り組みについてねりあい解散した。

布教講話は、教祖140年祭後の活動につなげられるようにとの思いで、どなたでも参加できるように案内した。教務支庁へ来庁された方、YouTubeのライブ配信で視聴された方など大勢の

## 基礎講座

方に聞いていただき、真剣な受講の様子をありがたく感じた。来庁しての布教講話参加者は約50名、布教部長会議は、25支部が参加した。

11月30日、教務支庁会場において今年最後の基礎講座を開催させていただきました。

奥村教区長に講師をおつとめいただき、当日は受講者13名の御守護となりました。今回は、パワーポイントを使用した講座となり、視覚的にも親神様・教祖のお話が入りやすかったと思います。



基礎講座 教務支庁会場

また、教会長をはじめ、回数を重ねての受講、はじめての受講の方もおられ、幅広い年齢層の方にご受講いただき誠に有難うございました。

今年も教務支庁会場、また地方開催を計画しております。基礎講座をにをいがけおたすけの一助にご活用いただき、ご受講いただけるよう係員一同心よりお待ちしております。

(事務局 佐藤元展)

## 支部隊長会議

### 災救隊

災救隊(富山知一隊長)は、11月26日、おぢば教区事務所ではリモートを併用し支部隊長会議を開催、20名が参加した。

宣誓唱和後、教区長より相次ぐ地震や噴火、豪雪・豪雨などの災害を踏まえ、有事に備えた結束力と行動力の重要性について、「日々の真実の積み重ねが、災害を未然に防ぐ一番の心がけで、親神様に届くものだと思う

可能性がある中、連絡・連携を密にし、心を一つにして備える



おぢば教区事務所

こと。そして地域のリーダーとして使命感と情熱を持って救援活動にあたる姿勢が求められる」と挨拶いただいた。

その後、富山隊長が挨拶。続いてスタッフ、支部隊長の紹介がされた。全支部の半数が隊長交代となったことから、改めて災害時の連絡体制と役割の確認について説明を行った。

また今年度活動報告、次年度活動予定では、平時訓練と白川山林整備ひのきしんの日程が告知された。

頻発する災害に即応するため、連絡体制の強化と日々の心がけ、訓練の重要性を再確認し散会した。



## 学生会おつとめ総会

教区学生会(野村夏実委員長)は、12月7日教務支庁にて北海道教区学生会おつとめ総会を開催。学生23名が参加した。

野村委員長祭主のもと、雅楽が奏楽される中、祭儀式が執り行われ、全員おつとめ衣を纏い、一手一つに座りづとめ、十二下りをつとめ、日頃活動をさせていたただける感謝とお礼をさせていただいた。

おつとめ後は、高橋清彦学生担当委員長が、奥村教区長の挨拶を代読し、続いて本部学生会



天理教北海道教区学生会おつとめ総会



一手一つにおつとめを

鈴木未来委員より来賓挨拶。野村委員長長の挨拶で式典を終えた。

午後は、自己紹介やゲームで親睦を深め、昨年の春の学生おぢばがえりのビデオを観て、来年の「教祖140年祭学生おぢばがえり大会」の啓蒙を行った。最後に、庁舎ひのきしんをして閉会した。

「各支部の先生方のお力添えを頂き、おつとめ総会を開催させて頂いたことに感謝を申し上げます。

みなんで一所懸命おつとめ練習に励み、総会で一手一つにおつとめをすることが出来てとても感動しました！

また、今後は3月28日におぢばで開催される「教祖140年祭

生おぢばがえり大会」に向けて活動を進めていきますので、各支部の先生方、教会長の皆様にも学生へのお声がけ、どうぞご協力宜しく願います。」と野村委員長が感謝を述べた。

## ●ふせこみひのきしん

教務支庁にて毎月29日

11月29日は、厨房掃除を中心に神殿、ロビー、玄関、廊下、階段、大小会議室、風呂、トイレの各所掃除、窓拭きを行い、17名が参加くださいました。ありがとうございます。



神殿掃除



厨房掃除

## 北海道教務支庁日誌抄

12月1日	少年会スタッフ会議
2日	一手一つお願いづとめ支部長会議
	地方委員(予算)会議
4日	支部布教部長会議
7日	札幌中南支部例会
8日	学生会おつとめ総会
13日	会計部会議
16日	しるふき会移動例会(大)
23日	やまびこ会
25日	教区長帰本
26日	教区長会議
27日	本部月次祭選拜式
	教務支庁ふせこみひのきしん
	御用納め

## ◆やまびこ会のご案内◆

布教を志す者の会として、にをいがけ活動を中心に実動しています。どなたでもご参加いただけます。

次回は、1月16日13時30分、教務支庁集合

※毎月16日を  
固定日として実施

## けいじばん

◎法律に関わる諸問題でご相談の方は弁護士を紹介致します。所属教会を通して教務支庁書記・渡部までご連絡下さい。

◎毎月26日に本部月次祭選拜式を午前10時より行っています。

## 計報

立教一八八年・令和7年

- 佐々木 キヌ様 11月12日出直(79歳)  
寿都港分教会長夫人 (渡島支部)
- 佐藤 和子様 11月15日出直(95歳)  
江別分教会前会長 (南空知支部)
- 川俣 孝子様 11月16日出直(96歳)  
志文分教会前会長 (南空知支部)
- 栗林 リツ子様 12月1日出直(94歳)  
旭網分教会前会長 (網走支部)
- 前田 英子様 12月3日出直(85歳)  
芦勝分教会長夫人 (十勝支部)

## ●休刊のお知らせ●

2月の北海道教区報はお休みいたします。